ETHER V2

V2は、高周波増幅と再生 (再生回路における再生) の量を調整するホイールが追加されています。これらの回路は検出器-復調器の前に (最初期のラジオのように) あり、これにより電磁界のよりダイナミックなレイヤーにフォーカスして受信することができます。あらゆる空間、場所はユニークであり、ETHERはそれらの場における最も興味深い音を捉え、増幅することができます。さらに、V2は2つ目のアンテナのピンがあります。それらの両方もしくは片方を触り、そしてそれらを金属製の物体に繋いでみてください。あなたの身体とその物体は大きなアンテナとなり感度が上がることによって、より広い音を捉えることができます。

Etherは時に故障かと思われるような動作をします。ヘッドフォンを繋ぎボリュームを上げていくと、身体、ヘッドフォンを経由して、大音量のパチパチとしたカオティックなフィードバックを起こします。これを防ぐにはローインピーダンスの感度の高いヘッドフォン (Koss porta pro: 60 ohms など。音質、快適性を考えると、プロ用機材等のコンセントから電源を取るような機器と接続するようデザインされた高品質のスタジオ用ヘッドフォンより適しています。64 ohms以下を推奨) を使い、ボリュームを上げすぎないようにしてください。Etherはとても高感度な、ワイドバンドのレシーバーで、自分のアウトプットさえキャッチしてしまう可能性があることを気に留めておいてください。
この動作を根本から防ぐには感度を下げる必要があり、それは僅かな、しかしクールなシグナルをキャッチ出来なくなるということです。